

みなみいせ 2014



29号

2014.2.1
議会だより



決意新たに 新春消防出初式

主な
内容

平成25年 第4回
12月定例会……………2～3
一般質問……………4～17
みんなでやっとなるで～ ほか…18

発行／三重県南伊勢町議会
〒516-0194 三重県度会郡南伊勢町五ヶ所浦3057
編集／議会広報特別委員会

平成25年 第4回定例会

認定

12月10日から13日までの3日間、12月定例会が開催され、

9月定例会で常任委

員会付託された平成

24年度各会計決算の

委員長報告と認定決

議をはじめ、平成25

年度補正予算8件、

条例の制定1件、条

例の一部改正5件、

工事請負契約の変更

1件、同意1件、諮問1件、鳥羽志勢広域連合の財産処分に

関する協議1件が可

決されたほか、2件

の選挙が行われまし

た。

一般質問では新議

員を含め14人が質問

を行いました。

平成24年度南伊勢町一般会計歳入歳出決算

賛成多数

反対議員

手塚 征男

平成24年度南伊勢町国民健康保険特別会計歳入歳出決算

全員賛成

平成24年度南伊勢町介護保険特別会計歳入歳出決算

全員賛成

平成24年度南伊勢町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算

全員賛成

平成24年度南伊勢町下水道事業特別会計歳入歳出決算

全員賛成

平成24年度南伊勢町戸別合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算

全員賛成

平成24年度南伊勢町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

全員賛成

平成24年度南伊勢町病院事業会計決算

全員賛成

平成24年度南伊勢町上水道事業会計決算

全員賛成

議案

平成25年度南伊勢町一般会計補正予算(第7号)

全員賛成

平成25年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

全員賛成

平成25年度南伊勢町介護保険特別会計補正予算(第3号)

全員賛成

平成25年度南伊勢町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

全員賛成

平成25年度南伊勢町下水道事業会計補正予算(第3号)

全員賛成

平成25年度南伊勢町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

全員賛成

平成25年度南伊勢町上水道事業会計補正予算(第2号)

全員賛成

平成25年度南伊勢町病院事業会計補正予算(第2号)

全員賛成

消費税額等の改定に伴う関係条例の整備に関する条例

全員賛成

南伊勢町税外収入金に係る督促手数料及び延滞金徴収条例の一部を改正する条例

全員賛成

南伊勢町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

全員賛成

南伊勢町介護保険条例の一部を改正する条例

全員賛成

南伊勢町委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

全員賛成

南伊勢町集落排水処理施設条例の一部を改正する条例

全員賛成

鳥羽志勢広域連合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分に關する協議について

全員賛成

工事請負契約の変更について
(特定環境保全公共下水道事業(中津浜浦・船越地区)管路施設工事)

全員賛成

同意

監査委員の選任について

全員賛成

諮問

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

選挙

選挙管理委員及び補充員の選挙
三重県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙



2期目スタート

補正予算 主な質疑

使用に支障

問 議員 宿田曾保育園トイレ修繕費の説明を。

答 福祉課長 園児用トイレにすき間があり、その部分から泥水が溜まる状態で、それを改善する修繕費を計上した。

利用者増

問 議員 放課後児童健全育成事業補助金の追加の理由は。

答 福祉課長 夏休み中の利用者増加に伴い、指導員を一人増員したため補助金を追加した。

津波対策で

問 議員 減災事業の内容は。

答 水産農林課長 東日本大震災に伴う津波で、当町の基幹産業である水産業に大きな被害をうけた。今回の事業は、養殖イカダの配置変更により津波の応力を分散させるものと、イカダのロープを津波応力に耐えるものに変更する。この2点を実施。

好評

問 議員 観光費印刷製本費の目的・効果を聞きたい。

答 観光商工課長 遷宮などの各種イベントが多く開催され、町パンフレットの在庫が少なくなり、2万部増刷分を経費として計上した。



みんな仲良く

統合に伴い

問 議員 薬品処理委託料の内容は。

答 教育委員会事務局長 小学校統合を予定している中で、各学校の理科で使用している薬品の残った分を今年度中に処理するために計上した。

子育て支援法により



サービスを充実

問 議員 子育て支援システム導入業務委託料の説明を。

答 福祉課長 平成24年8月に成立した『子ども・子育て支援法』に基づき、平成26年10月より新制度の運用が始まる。これにより、保護者や施設に対して審査・認定・交付といった事務が発生するため、認定を受けられた方や施設の情報管理、給付審査、支払い交付金の申請・交付などを円滑に実施するためシステムを新規導入するもの。

十分な査定は

問 議員 病院会計負担金の査定にあたり、十分な審査をしたのか。

答 行政経営課長 本年度の経営状況を聞く中で査定を行った。

国の施策で

問 議員 森林経営計画作成補助の説明と補助対象は。

答 水産農林課長 小規模分散的に行われている、施業地を集約し効率化を促進するための国の施策で、森林経営計画を作成することになっている。補助対象は森林組合となっている。

年間では

問 議員 計上されている財産貸付収入は、年間の貸付金額でないと思うが、年間の貸付金額は。

答 総務課長 計上されている額は11月6日から3月31日まで146日間で計算している。年間では161万268円となる。



町有地を利用

海上防災は

協働による安全確保 町長



掛橋 靖 議員

問

巨大地震による大津波に対する陸上防災は、避難路・避難場所の整備、防災講演会などを各地区で実施し、町民の防災意識を高めている。一方、大津波発生時、海上で仕事をしている町民も多くいると思うが、海上防災対策は。

答

町長 今年9月の防災訓練では、海上保安庁の協力を得て、漁業者や釣り客の安全確保のため、三重外湾漁協古和浦漁協、漁業者が協働して、海上防災訓練を実施。11月28日・29日には、漁業者などに検証結果の説明会を実施した。今後は海上避難マップの作成、海上から見える避難誘導標識の設置などを検討して、速やかに避難できるように取り組んでいく。



陸上だけでなく海上でも

問

人口減少の著しい当町では、各地区の生活基盤が揺らぎ、共同生活の確立が困難となっており、若者定住対策が急務と考える。地域と町が連携し、独身者に身近な、大規模交流の場の提供が必要なのは。

答

町長 平成19年度から、出会いの場の提供を実施しており、今年も12月21日・22日の2日間を実施。また、本年度は町民と役場職員で作る『南伊勢ええやんプロジェクト』で婚活事業を2月に実施。各地区の

独身者に出会いの場を

婚活事業を進める

町長

地元で出逢おに！

2月7日（金）19:30～21:30
in 浮島パークなんとう

**鍋を囲んで、食べて喋って楽しもう！
新しい出逢いに乾杯！**

対象 20代・30代の独身男女（原則として南伊勢町在住）

定員 男性15名・女性15名

参加費 男性3,000円・女性2,000円

とき 平成26年2月7日（金）19:30～21:30（受付19:00～）

ところ 浮島パークなんとう（南伊勢町道方370）電話 0596-77-1555

内容 ①鍋・オードブルを囲んで食事（アルコールもあります！）
②楽しいゲーム
③連絡先交換

※カードを、最後に気に入った異性に誰にも分からないように渡すようにします。
何枚もらえるかは、家に帰ってからのお楽しみ！

申込先 minamiise-eyan@town.minamiise.lg.jp
名前（フリガナ）・生年月日・性別・住所・連絡先（携帯等）をご記入ください。

写真（画像）は当日、連絡先交換カードを作成しますので、そのときに使用する顔写真を1枚送ってください。携帯で撮ったものでOK！とお送りください。（例：脚より上が写っている写真）

締切日 平成26年1月31日（金）

主催 南伊勢ええやん！プロジェクト

※婚活が目的に活動しています。
※「南伊勢ええやんプロジェクト」でFACEBOOKもしていますのでご覧ください。「いいね！」をお願いします。
※町内在住の方を優先するので町外在住の方の応募については定員に達した場合、お断りすることがあります。
問い合わせ先：0599-66-1366（受付係：赤倉・川口・山川）

メールで申込み！
※写真（画像）もメールで

・美味しい鍋！
・友達同士の参加OK！

婚活を積極的に



河村 健志 議員

放課後対策は

健やかな育成の整備

町長

問

平成19年度に『放課後子どもプラン運営委員会』が設置されたが、どのような対策が実施されているか。また、NPO法人『みなみいせ市民活動ネット』による放課後児童クラブ『キッズみかん』の利用状況は、さらに、小学校統合後の放課後対策は。

答

町長 『放課後子どもプラン運営委員会』では、地域の方々と、「放課後児童クラブ」、「放課後子ども教室」などの事業を進め、子どもの健やかな育成・環境整備などに努めている。利用状況は、利用者全員が五ヶ所小学校区の子どもで、1ヶ月平均26人となっている。統合後、利用者増を見越して、図書室を『キッズみかん』の活動場所とするための改修を予定している。



子どもたちの放課後のケアを

問

閉校後の校舎や付帯施設（グラウンド・体育館・プール）などの利用計画は。また、今後の維持管理については。

答

町長 閉校後の校舎や付帯施設の利用は、南島西中学校グラウンドの一部を南島保育所とさざ波園の統合保育所の建設予定地としている。また今後、地区・各種団体などを中心とした跡地や施設利用の検討会を、それぞれの学区単位

閉校後の有効利用は

地域・関係者団体と検討

町長



みんなで考えよう

その他の質問

● 統合後の小学校と地域の係わり方について



梅谷幸紀 議員

優先理由は

スピードに違い

町長

問

現在、紀勢地区広域消防組合南島分署の移転工事が行われているが、保育所の高台移転を優先すべきでは。消防署移転を優先した理由は

答

町長 東日本大震災の教訓として、公共施設の高台移転が必要と考えている。保育所統合は、平成24年に検討委員会を設け、平成25年3月に答申をいただいた。答申に基づき、南島保育所とさざ波園を合併しての高台移転を進めることとして、今定例会に設計費用を予算計上した。公共施設の高台移転は、それぞれ施設の内容も異なるので、進め方やスピードに違いが生じることがあると考えるので、ご理解願いたい。

毎日楽しく



問

南島地区の高校生の通学バス問題で、11月5日に報告された、伊勢発の最終便の時刻や、JR伊勢柏崎駅までの町営バス・三交バスの運行の具体的な説明を。

答

町長 南島地区の高校生の通学バスは、関係地区から陳情書をいただき、運行に向けて関係機関と折衝を進めてきた。伊勢市駅の三交最終便は、19時5分出発、20時4分道方着。この便は、新規に町営バスのダイヤを組み、20時5分には道方を出発し、阿曾浦・神前浦・村山口を経由し

バス通学問題は

すでに関係機関と調整済み

町長

て20時59分に古和浦着の予定。また、JR伊勢柏崎駅までの町営バスの運行は大変難しく、三重運輸支局・三重交通など、関係機関と調整を重ね、運行までこぎつけた。三交の車両の準備や条例改正などを行ったのち、平成26年10月ごろを目途に運行を開始したい。



高校生活の充実に向け



沢村 圭也 議員

公共施設の有効利用は

地域の意向を尊重

町長



跡地の有効活用に向け

問 保育所・小・中学校の統合が行われるが、統合後の跡地、施設利用の考えは。

答 町長 小・中学校の統合後、南島西中学校跡地のグラウンドは、南島保育所・さざ波園の統合保育所の候補地としている。今後は、利用検討会議をそれぞれの学区単位で1月には開催し、地域・各種団体などの意見をいただきたいと考えている。保育所の跡地は、閉園予定が学校より早いので、学校跡地とは別に検討していきたい。

『和』の高台移転を

社協・福祉課・医療保険課にて検討中

町長

問 デイサービス『和』は、海拔152mの場所にある。津波防災の観点から、高台への移転の考えは。

答 町長 社会福祉協議会の福祉サービスは、町民にとって必要な事業であることから、社会福祉協議会のあり方を、社協事務局・福祉課・医療保険課で検討会を行っている。その中で、デイサービス『和』は、津波などの災害からの避難の難しさとサービス事業内容のあり方が大きな課題であるとの認識を持っている。



施設の安全対策

産業振興策は

重要な課題である

町長



岡本 眞 議員

問

農業・漁業を中心として栄えてきた当町の産業は大変厳しい局面を迎えている。一次産業育成が急務であるが、農林漁業・商工業の振興策は。

答

町長 行政・漁協・関係団体・各生産者の役割分担を明確にし、それぞれが協力・協働のもと、農林水産業の振興を図っていく必要がある。

現在、漁業者から出た意見を参考にし、収益アップに向けた取り組みとして、カサゴ・アワビの種苗生産や、アコヤのサイズアップ、アサリの

すいか
垂下養殖試験、藻場の再生事業など、今後も漁業者から生の声を聞いて、水産振興の施策に反映していきたい。

農林業は、衰退要因の一つである獣害のさまざまな対策を進めてきたが、今後もより一層の獣害対策をしていきたい。また、担い手対策として、『みかんの学校』の開設、耕作放棄地を活用した「青ねぎ」「葉用しょうが」の試験栽培にも取り組んでいる。利用集積事業は、今後も国の動向に注視しながら農業施策を進めていきたい。

取り戻したい活気



商工業の振興は『企業誘致等促進事業』『南伊勢ブランド販路拡大事業』『南伊勢ブランド認定事業』を進めている。今後「企業誘致」「産業活性化」を軸に、「雇用の場の確保」「過疎化の歯止め」となるよう商工業の振興を進めていく。

防災対策は

見直しを行っている

町長



備えあれば

問

町の防災対策の進捗状況と今後の進め方は。

答

町長 一次避難場所・避難道およびソーラー照明の整備、一次避難場所への小型備蓄倉庫と二次避難所への備蓄倉庫の設置を実施。

『防災講演会』『防災勉強会』『はつらつ健脚運動』などを各地域で実施し、町民の防災意識の向上を目指してきた。今後は、町地域防災計画の見直しを行うとともに、防災関係機関などによる防災会議を設置し、計画策定業務を進めていきたい。

その他の質問

●絆プラン遂行のために

『防災講演会』『防災勉強会』『はつらつ健脚運動』



倉田 育 議員

料金統一は

検討している

町長

問

平成29年に水道料金
金を統一すると聞
いているが、改定率と改
定後の料金、統一時期、
町民への説明は。

答

町長 平成25年度
から8ヶ所の簡易
水道施設の資産調査を行
い、それらのデータや財
政計画の策定、料金水準
の算定、料金体系の設定
を行ったうえで、基準料
金が決まると考えている。
議論する仕組みやスケ
ジュールは、第3者委員
会などを設置し、充分な
議論をいただいで決めて
いきたいと考えている。
改定率と改定後の水道料
金は、現時点では答えら
れる状態ではない。統一
時期は現在検討中である
値上げを迫られる地域に
は、各地域に向き、地
域の代表者、住民の方々
に詳細な説明をしたいと
考えている。



格差のない水を

問

弁護士資格者の任
期付職員採用のメ
リットと、他の市町の採
用例、年間の人件費は。

答

町長 緊急の案件
や難しい案件の現
場立ち会い、判断に迷う
ことや困りごとなど、気軽
にすぐに相談できるうえ
迅速に対応ができるので、
業務の遂行・職員の精神

任期付職員採用のメリットは

迅速な対応

町長

衛生においてもメリット
がある。また、職員の法
務能力の向上、意識改革
などを含め、人材育成に
もつながると考えている。
ほかにも毎月、南勢・南
島両庁舎で無料法律相談
を実施し、町民の皆さま
にも利用していただいで
いる。地方行政の高度
化・専門化が進む中で、
行政が直面する課題を迅
速に解決することは、町
政ひいては町民のメリッ
トにつながると考える。
県内では11月末現在で
3市町が採用、平成26年
4月から松阪市でも2人
の採用を予定している。
人件費は給与で約63
0万円、共済負担金など
で約260万円となってい
る。

その他の質問

●「公平・公正・透明」
を基本とする政策・施
策について



悩みごとの解決を



山本周也 議員

行政の対応は

対応要領を策定する

町長

問

『障害者差別解消法』に関し、当町においてもぜひ研修などを積み重ねて実施してはどうか。

答

町長 行政規模も小さいことから、各機関別ではなく町としての総合的な対応要領を策定することと考えている。「合理的配慮」はどの

ような配慮が該当するのか、個別の事案によって異なるので、対応要領の検討とともに事例の収集や研修などを行っていく。

一部拡大を

検討していきたい

町長

町の取り組みは

検討しているところ

町長

問

障がい者福祉サービスなどの利用者への「サービス等利用計画」の作成に関して、当町の対応はどのようなになっているのか。また、今後どのように推進する考えなのか。

答

町長 計画相談事業所のあるので、『南伊勢町地域自立支援協議会』に相談支援部会を設置し検討中である。また度会郡4町の担当者で相談支援事業に関する会議を開催しており、生活圏域に根ざした広域的な計画相談事業所の整備も検討している。

問

障がい者デイサービスに関する利用可能日の一部拡大について、障がい者の方から、入浴サービスもあることから、同等の対応（年間12日ほどの利用日の拡大）ができないか。

答

町長 受託事業者である社会福祉協議会の運営規定を見直す必要がある。今後、社会福祉協議会と協議し、祝日の開所に向けてできるだけ早くできるよう検討していきたい。

その他の質問

- 住宅などの高台への建設促進とそれに対応する上下水道政策の見直しについて
- 危険な空き家対策に関する町条例の制定について
- 公共施設整備に関する町内産材の活用推進について
- 町内中学校の体育系部活と『みなみいせスポーツネット』などの関わりについて



充実した福祉サービス



社会福祉協議会



手塚 征男 議員

要介護者のケア方法は

必要に応じた仕組づくり 町長

問

施政方針で、「地域医療・介護を最優先に、一元化ビジョンに基づき地域包括ケアシステムを構築する」とあるが、介護者を具体的にどのようにケアするのか。

答

町長 要介護が必要となっても自宅で暮らせるように、訪問介護・看護を充実させてい。さらに、要介護度が高くなるにつれ、必要に応じて医療機関や介護施設の利用を判断・調整する機能を整え、総合的に一時的な入院や入所の受け入れができる仕組みづくりを進める。



不安のない介護に向け

問

「どの地域に住んでいても町の水道を使えるように」ということが問われているのでは。

答

町長 別荘管理会社と住民の方々の給水契約上の問題であると判断している。基本的には民と民との契約関係のことであり、町としては立ち入ることはできない。しかし、水道の安定的な供給は生活の安全のために欠かせないものであることから、住民の方から何度か相談を受け、現地へも出向き、弁護士とも相談しながら対応している。

基本的には民と民ではあるが 町長

給水問題解決を



生活の安全のために

選挙事務所の借り方は

何ら問題なし 町長

問

先の町長選挙で、町の入札に指名される建設業者から、選挙事務所や後援会事務所を借りていたり、全面的な支援を受けていたが、「公正・公平・透明」な町政が守れるのか。

答

町長 建物の所有者と建物賃貸契約をそれぞれ取り交わし、法的に何の問題もなく借りていた。建設業者・漁業者・農業者・各種団体の方々から広く支援をいただき当選できたと思っている。また、皆さんと一緒に安全で安心して暮らせる明るいまちにしていきたい。

その他の質問

●し尿の超高度処理問題

若者定住策は

町民と協働で進める 町長



西 則孝 議員

問

本町には、少子高齢化・人口減少の厳しい現実があり、これを改善するには若者定住促進が課題だが、具体的な取組体制や手法は。また、就職支援は。

答

町長 体制は、若者定住促進を総合行政として全課長による『課長戦略オフサイト』を設置し、取り組みを進めている。手法は『若者定住促進プロジェクト』を設置し、町内の若者と役場職員、また別に課長・係長・若手職員からなるそれぞれの検討会議により、町民との協働、役場全体の取り組みとして積極的に進めている。若者への就職支援は、就職相談窓口を観光商工課に設置した。

管理体制は万全か

教育委員会と観光商工課が管理 町長

問

『愛洲の館』および『愛洲の里』の広場の管理体制は、

答

町長 『愛洲の館』（建物）の管理は教育委員会で、臨時職員2人を交代制で勤務させている。『愛洲の里』の広場の管理は観光商工課で、周辺の清掃・草刈りなどは『愛洲氏顕彰会』に委託している。また、『愛洲の里公園』の除草・剪定作業は今年度より総務課で実施している。



明確な体制を

エコ・センターの今後は

リサイクルの推進に活用 住民生活課長

問

鳥羽志勢広域連合の『さいたエコ・センター』の今後の利用や方向性は。

答

住民生活課長 『さいたエコ・センター』はペットボトル・プラスチック・白色トレイなどの再資源化を図る圧縮減容施設で、再資源化物の保管場所にもなっている。今後は、「鳥羽志摩南伊勢地域循環型社会形成推進地域計画」に基づき、再資源化を延滞なく遂行しリサイクルの推進に努める。



町単独で運用開始



林 孝充 議員

ひどい道路脇のゴミ

不法投棄防止策の強化を図る 住民生活課長

問 町内の道路沿いに
空き缶・空きビンの不法
投棄が目立つが、担当課
は現状を把握しているの
か。

答 住民生活課長
国道・県道は県職
員が、町道は職員が道路
パトロールをして状況把
握している。対策として
不法投棄禁止看板の設置
やパトロールの強化のほ
か、警戒場所へは県と連
携し監視カメラの設置な
ども実施。今後も県や地域
と連携し対策を強化する。



なくそうポイ捨て

通学路整備が不十分

継続して県に要請中 建設課長

問 神津佐地区から五ヶ
所小学校までの通
学路（国道沿い）整備は、
自転車の転倒防止や除草
対策を実施してもらった
が、歩道の雑草対策はま
だ不十分では。

答 建設課長 道路の
除草作業は、通学
路なので毎年早めに作業
するように県に要請して
いる。ご指摘の道路構造
物のすき間の除草は草刈
り作業時に行っているが、
草抑えの手立ては目途が
立っていない。

遅いぞ 災害対策本部機能確保

早期に選定できるように検討中 町長

問 南島地区の災害対
策本部機能は、来
年度建築予定の紀勢地区
広域消防組合奥伊勢消防
署南島分署への設置が決
定しているが、南勢地区
はどうなっているのか。

答 町長 現在の南勢
部が設置できないことを
想定し、代替施設の場合
を検討しているが、当初
想定していた場所を諸条
件の関係で見直している。
早期に選定できるように
検討する。



同時期設置を（南島災対本部機能予定地）

南伊勢ワイナリーの会

町と協働で葡萄試験栽培に取り組んでいます

参加者募集0599-66-1720

問 ブドウ栽培は何種類で何株植え、その生育状況と栽培規模はどのくらいか。ワイン醸造に必要な量と設備一式にいくらかかるのか。また、醸造までたどり着くまでに一番大事なことは何か。

ブドウ栽培は何種類で何株植え、そ

町長 4品種、300株を栽培した

1年生の苗木を定植。順調に生育したが、8月にベト病が発生、薬剤散布し対処した。今は、全木が2年目の発芽を待っている。酒造免許を取得するには、最低3,000本の植え付けが必要なので、約1ヘクタールの土地が必要となってくる。設備費は、約3,000、4,000万円と聞いている。当町の気候は、ワイン用ブドウの栽培には厳しい条件であるが、同条件での成功事例があり、情熱をもって粘り強く事業に取り組むことが大切と考えている。

情熱をもって粘り強く

問 東宮資料館は、開館から8年目に入っているが、入場者は少ないように思われる。今後どのような方向にもっていくつもりなのか。

東宮資料館は、開館から8年目に入っ

答 町長 地域の人々に地域の文化・歴史を知らせ継承するための施設で、子供たちが地元の生んだ偉人「河村瑞賢」を知るための資料の活用その仕事・想い展』を企画している。引き続き文化財や資料の展示公開及び調査研究の拠点として、施設整備と機能を充実させたい。

町長 地域の文化・歴史に地域の人々

その仕事・想い展』を企画している。引き続き文化財や資料の展示公開及び調査研究の拠点として施設整備と機能を充実させたい。

拠点施設としての充実を

町長



郷土の歴史を知ろう



東 伊久雄 議員

どう進めるのか若者定住

課長戦略オフサイト

町長



進む取り組み

問

若者定住促進は、あらゆる政策を組み合わせて強力に進めていく必要がある、検討・実行会議を置いて、町の全政策を通して取り組んでいるが、その実行会議の内容は。

答

町長 全課長による『課長戦略オフサイト』を設置し、昨年はこの中から、『若者定住プロジェクト』を立ち

上げ、「町内の若者と役場職員」・「役場の課長」・「係長」・「若手職員」で構成された検討会議など6班で検討をした。各班から多くの事業提案をいただき、各課の施策としての取り組みを進めている。

問

高台への新築移転希望者へのライフライン確保についての考えは。

答

上下水道課長

若者定住対策として、高台への移転希望者のライフラインの確保は重要と考えている。移転を希望する場所によりさまざまな条件があり、給水区域の変更や、下水道・浄化槽区域の変更や指定など、新たな整備が必要となる。多額の費用が生じると考えられるので、移転希望者の動向も注視し、住宅整備の計画などをふまえながら、検討して進めたい。

ライフラインの確保を

重要と考えている

上下水道課長



海辺の高台

放流事業の成果は

栽培漁業の目途が

水産農林課長



山本 芳隆 議員

問

種苗センター生産のアコヤ稚貝の生育状況は。また今後、どのようなアコヤ稚貝の生産を考えているか。さらに、漁師達も期待しているカサゴ稚魚放流の、生息状況と今年度の種苗生産数は。

答

水産農林課長

これまでよりサイズアップした稚貝を提供したところ、良い結果が出たので、今後も稚貝のサイズアップに取り組みたい。また、生産者との意見交換会を実施して収益性の高いアコヤ種苗生産の参考にしたい。県栽培漁業センターで生産したカサゴ6万尾を3ヶ所

に標識放流し、モニタリングを行っている。宿浦放流地区では、県と合同で月1回追跡調査を行っている。6ヶ月で2センチ成長していて、放流地点で数多く確認でき、移動範囲が狭く定着性が強い。ため、栽培漁業対象魚種として期待できることを確認した。



新規放流事業（カサゴ放流）

問

地域包括支援センターと社会福祉協議会とは、どのような連携を取り合っているのか。医療・保険・介護の一元化ビジョンの構想で、一つの建物の中に福祉課・社協・包括支援センターを置くことは考えているのか。

答

町長

地域包括支援センターと福祉課・医療保険課は高齢者の支援実施に連携が欠かせない。情報共有のために定例会議を開催したり、個別対応のためのケース会議などを行っている。一つの建物の中に入る構想は、連携を図るために

連携はどのように

個別対応のために

町長

● 防災について
その他の質問



社協の活動拠点



田中喜一郎 議員

強靱なまちとは

立ち直りの早いまち

町長

問

町長が考える強靱な町とは、どのような町なのか。取り組み方・計画は。

答

町長 過去の教訓に学び、平時から事前の備えを行い、南海トラフ巨大地震・津波災害に対しても被害をより少なくし、壊滅的にならない、立ち直りの早い強靱なまちづくりを進めなければと考えている。そのことからハード・ソフト全ての政策に防災・減災の視点を入れたまちづくりを進めていくことが大切であると考えている。



充実する避難路整備（神津佐）

閉校利用は

一定標高の確保が

町長

問

選挙公約にある閉校となる学校の活用には、災害時も考慮したうえで、どの校舎を考えているのか。また内容は。

答

町長 閉校となる学校には、一定の標高が確保されていると



来年から閉校

ころもあり、これを活用したい。高齢者住宅として、有料老人ホームの誘致を考えている。また配食サービスとして、実施中の「食の自立支援事業」の対象をもう少し広げ、健康を支えるという面で、高齢者に配慮したものを考えたい。

みんなでやっとなで〜

町内のがんばっている人を紹介します！

南島バドミントンスポーツ少年団



設 立 昭和 59 年
団員数 12 人

活 動 方 針

自主性をもって、
楽しくバドミントン!!

南島バドミントンスポーツ少年団は、昭和 59 年から続く伝統あるチームで、現在南島西小学校 2 年生～ 6 年生の 25 名が在籍しています。『いつまでもバドミントンに親しみ、楽しくプレーできること』をモットーに、ワイワイ練習に励んでいます。

活動は毎週、月・木曜日（19 時～ 21 時）、特別練習として水曜日（19 時～ 20 時 30 分）に、南島体育センターでやっています。今は 2 月に静岡県で行われる東海大会に向けて頑張っています。子どもたちがバドミントンを通じて、こころとからだの成長を体感できるように、また、地域活性の場として、これからもみんなで続けていきたいと思っています。

募 集

議会だよりでは町のがんばり屋さんを募集しています。自薦他薦は問いません。どんなことでもかまいません。 ※下記の議会事務局まで

議会広報特別委員会

委 員	副委員長	委員長
山本 芳隆	岡本 眞	東 伊久雄
		掛橋 靖
		林 孝充

議 長 上村 久仁

議会を傍聴しませんか



3 月定例会が開催されます。
開催は 3 月 3 日～ 3 月 24 日の予定です。
ぜひ傍聴してください。
(当日、総務課で受付をしてください)

編集後記



嵐の前の静けさなのか、平成 26 年のお正月は穏やかな気候に恵まれ、心静かに過ごすことが出来ました。春からの消費税アップに向け、生活防衛の手引きがテレビや新聞で取り上げられています、私たち議会も、皆さんと一緒に住みやすいまちづくりを目指して、全力で活動します。



議会だよりについてのお問い合わせなどは、議会事務局までご連絡ください。

TEL 0599-661781
FAX 0599-662164